

概要 地域の住民や事業者, その他の関係機関が一体となって, 自動車交通の抑制や平準化を図る。また, 必要に応じて実験的な取組を実施しながら, 安全・快適で効率の良い, 人や環境にやさしい交通体系の実現を目指す。

総合評価
B 市民生活実感評価はやや悪い状況にあるが, 平成14年度及び平成15年度のパーク＆ライド利用者アンケートの調査結果から評価した客観指標総合評価が大変良い傾向にあることから, 総合的には施策の目的はかなり達成されていると評価する。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: a

指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

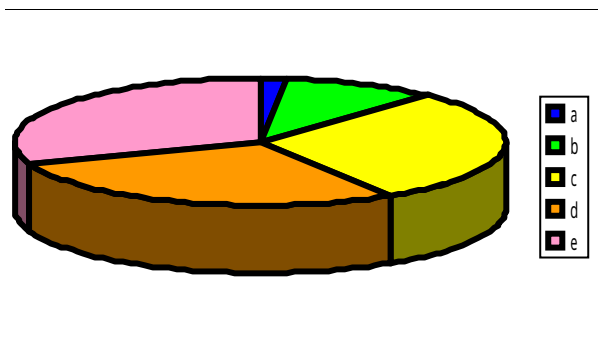
評価

(準)パーク＆ライドの利用者満足度(%)

95.6	96.7		a
------	------	--	---

この施策に関する市民生活実感評価

パークアンドライドなど新しい交通政策は十分に展開されている。



答a: そう思う	7	1.8%
答b: どちらかというと思う	40	10.3%
答c: どちらとも言えない	113	29.0%
答d: どちらかというと思う 思わない	111	28.5%
答e: そう思わない	119	30.5%
有効回答数	390	
市民生活実感評価		d

<参考> この施策実現のための主な事業

事業名

- 都心地域の交通対策検討調査
- 新しい公共交通システム調査
- 京都市交通情報データシステム運用
- 嵐山等観光地交通対策